

基本目標	Ⅱ	「女と男」がともに参画するまちづくり
重点項目	1	政策・方針決定過程への共同参画

Ⅱ-1

施策の方向		平成24年度事業実施状況及び評価						25年度計画	担当課	
		No.	事業名	内容	評価	取組の実績	指標 実績数値 女性比			問題点及び今後の課題
1	各種審議会等委員への女性の参画推進	1	女性の任用推進	多くの意見を市政に反映させることを目的として、各種審議会等委員への女性の参画を積極的に推進する。委員の選出については、委員が重複しないように見直し、女性委員の占める割合を40%に達するよう努めることを庁内に周知し、毎年集計、公表する。	3	◇審議会等委員への女性の登用率・・・25.8% (24機関 275人中71人) ◇地方自治法第203条の3に基づく審議会等への登用率・・・24.3% (20機関 239人中58人)	女性登用率 25.8%	附属機関等の委員は充て職が多く、市議会議員や学識経験者には女性がいない又は少ない。従って、その他の委員選出に当たっては積極的に女性委員を選任するよう働きかけが必要である。また、委員を公募する場合は、女性の申込者を優先して決定するような働きかけも必要と考える。	審議会等に限らず、各種会合等で市民を委員として選任する場合も、女性の選任について配慮するようお願いする。附属機関等の委員の改選時には、充て職を除いては、学識経験者、関係行政機関の職員、公共的団体の代表などについて女性の委員を選任するよう各関係課にお願いし、女性の登用率の向上を目指す。	総務課
2	管理職への女性登用の推進	1	管理職への女性登用の推進	均等な研修機会の充実や女性の専門的な研修を促進し、様々な分野で活躍する女性職員の人材育成を図り、管理職への登用を推進する。	3	部長級0人(13人中) 課長級3人(38人中) 課長補佐級10人(79人中) 係長級21人(52人中) 合計182人中女性34人	34人 18.6%	比較的少ない課長補佐級以上への登用を進めていくこと。	能力、実績、適性に応じた人員配置を基本としつつ、公平な評価に基づく女性職員の管理職員への登用を引き続き進めていく。	人事課
3	組織・団体における意思決定の場への女性の参画促進	1	地域、団体役員への女性の登用	町内会等地域団体役員や地域活動の中心を担う指導者等への女性の登用を働きかける。	4	スポーツ推進委員が地域活動や指導を行う上で、男女ともに指導にあたるのが肝要であることから、女性の登用は不可欠と考え、目標達成に努めている。推進委員19人(内女性委員8人)	19人中 女性8人 登用率 42.1%	特になし	推進委員の女性登用率の水準はある程度高いので、これを維持していきたい。	スポーツ・生涯学習課
		2	市民主体のまちづくりの推進	既存コミュニティ組織である町内会、元気な十和田市づくり市民活動支援事業活用団体、ボランティア団体等の窓口として、女性の活躍が重要であることをアドバイスする。	3	◇団体へのアドバイス ◇上北地域コミュニティビジネス支援ネットワーク会議への出席 南部裂織保存会、NPOハピたの、NPO十和田奥入瀬郷づくり大学から、女性会員3人が出席 ◇元気な十和田市づくり市民活動支援事業 対象団体数15(うち女性が代表の団体数3)		積極的に活動している女性であっても、組織の経営的なノウハウや全体を通じてのマネジメント力を養う機会が少ないため、町内会においては、女性会長、女性役員が少ない状況となっている。女性のまちづくり参画のための研修機会などを増やしていくことが必要である。	①元気な十和田市づくり市民活動支援事業を通じて、男女共同参画に取り組む『しゃべって語ろう会』の取組の支援 ②各団体の相談対応の際に、女性リーダーの養成をアドバイスする。 ③人材育成につながる、まちづくりの実践の原動力となる情報交換、交流の機会を創出していく。	まちづくり支援課

基本目標	Ⅱ	「女と男」がともに参画するまちづくり
重点項目	2	活力あるまちづくりへの共同参画

Ⅱ-2

平成24年度事業実施状況及び評価

施策の方向	No.	事業名	内容	評価	取組の実績	指標		問題点及び今後の課題	25年度計画	担当課
						実績数値	女性比			
1 地域、防災・ 環境分野等 における男 女共同参画 の推進	1	ボランティア・NPO活動に関する情報の収集・提供	NPO・ボランティア団体の活動内容を紹介し、その活動の促進を図る。	3	人々が地域や社会活動に積極的に参加し、男女がともにまちづくりを担うため、市民活動団体の活動内容を市ホームページ上で紹介するとともに、新規・解散団体の取りまとめを行い、県や社会福祉協議会等の関係団体へ随時連絡し、情報の共有を図った。			全般のボランティア・NPO活動の情報収集・提供にさらに努めていく。	ホームページやフェイスブックなどを活用し、ボランティア団体やNPO活動団体の情報発信に努める。	まちづくり支援課
	2	ボランティア、自主グループへの活動支援	健康づくりに関するボランティア・自主グループの活動に対し、情報提供等の活動支援を行う。こころの会、アネモネの会、豆しとぎ会、よろこびの会など。	4	こころの会(紙芝居を通してこころの健康の普及・啓発)、アネモネの会(老人保健施設等の傾聴活動)、豆しとぎ会(老人保健施設への慰問活動)、よろこびの会(がん予防などに貢献)等の活動の際の健康教育や会場の提供など		ほとんどが女性	メンバーの固定化・高齢化などにより、活動が停滞傾向である。	各々の会が主体的に活動できるように、市の事業との連携を図りながら活動の支援を継続する。	健康増進課
	3	いきいきまちづくり活動の支援	いきいきとまちづくりへ参画する活動を支援するため、元気な十和田市づくり市民活動支援事業を通じて、市民と行政の協働によるまちづくりの推進、地域社会の様々な活動を男女が担い、多様な年齢層の社会参画の促進を図る。	4	元気な十和田市づくり市民活動支援事業応募状況:目標15に対し、16事業 交付実績:15事業	交付実績15事業		市民と行政の協働によるまちづくりを実現していくためには、従来の団体の活動領域から、より踏み出して地域課題への取り組みを誘導していく必要がある。このため、継続して、制度の拡充、団体の新たな取組の下支え、意識啓発などの取組を進める。同時にその成果を市民に対して客観的に示すため、評価手法や評価の実施について検討する。	地域コミュニティ「活動拠点バリアフリー化支援コース」、地域課題や振興への取り組みを支援する「協働型提案事業支援コース」、地域と学生の連携を支援する「学生のまちづくり支援コース」を新たに設け、事業費を拡充し、支援の拡大を図る。	まちづくり支援課

施策の方向		平成24年度事業実施状況及び評価							25年度計画	担当課	
		No.	事業名	内容	評価	取組の実績	指標				問題点及び今後の課題
							実績数値	女性比			
1	地域、防災・環境分野等における男女共同参画の推進	4	市民の声を反映させる市政窓口	市と町内会の懇談会等により、市民の意見や要望を市政に反映させる。	4	「市と町内会との懇談会」を開催し、94町内会から要望のあった263件に対して町内会長へ回答①8月20日 北園、西、上切田、下切田地区 ②8月21日 三本木、東、高清水地区 ③8月22日 休屋、宇樽部、法量、奥瀬、奥入瀬、沢田地区 ④8月23日 南、藤坂、伝法寺、米田、大不動、滝沢地区 ⑤8月24日 洞内、松陽、深持、ちとせ地区	懇談会出席者124人中女性9人	7.3%	平成24年度の単位町内会の女性会長は全体295町内会のうち、12町内会である。女性会長の懇談会出席率は75%であり、今後さらに出席率を高める必要がある。	8月19日・21日・23日・26日・27日の日程で、市と町内会の懇談会を開催し、市民の意見要望等を市政に反映させる。また、女性の出席率を高める。	まちづくり支援課
		5	男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立	女性の参画を拡大し、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立に努める。	1	実績無し			十和田市地域防災計画に男女共同参画について明記し、これをもとに体制整備を図る必要がある。	災害対策基本法の一部改正及び国県等の上位計画等に基づき、十和田市地域防災計画の修正中であり、当該計画本文に男女共同参画推進について追記する。(各機関の実施責任、避難所や応急仮設住宅の運営管理等)	総務課
		6	男女共同参画による消防団活動	男女共同参画による消防団活動において、防火・防災の推進を図るとともに消防団組織の増強に努める。	2	出初式、観閲式での式典運営及びラップ隊による演奏。春・秋の火災予防運動における独居老人宅の防火診断や住宅用火災警報器の設置促進運動。消防団員募集のための広報活動等。(消防団員776人うち女性16人)	776人中女性団員16人	2.1%	◇団員募集に関する効果的広報活動の検討 ◇式典やイベント等での女性団員の活動促進	◇出初式、観閲式等の式典における設営、受付、案内、会場アナウンス等 ◇春、秋の火災予防運動における防火パレードでの広報活動、独居老人宅の防火診断、住宅用火災警報器の設置促進運動 ◇消防団員募集運動として成人式でのパンフレット配布等	総務課

施策の方向		平成24年度事業実施状況及び評価							25年度計画	担当課	
		No.	事業名	内容	評価	取組の実績	指標				問題点及び今後の課題
							実績数値	女性比			
1	地域、防災・環境分野等における男女共同参画の推進	7	環境情報の提供について	水保全活動・ごみ問題などの環境保全に関する情報提供や啓発を行います。	5	<p>◇水保全について 奥入瀬川クリーン対策協議会並びに名水保全対策協議会では環境保全に関する啓発と、市民参加による奥入瀬川クリーン運動、名水保全活動を実施。奥入瀬川クリーン作戦参加者608人ごみ集量540kg 名水保全活動参加者延べ206人、市内水源地の水質調査6回、三日市湧水地整備、名水学習会3回等</p> <p>◇ゴミ問題について 廃棄物不法投棄監視員による市内全域パトロールを行い、ごみ散乱、不法投棄調査、指導を行うとともに環境保全に関する情報提供や啓発を行う。廃棄物不法投棄監視委員 3人×16回</p> <p>◇リサイクルについて ごみカレンダーを毎戸へ配布(約26,000枚)し、資源ゴミ分別回収の周知を行う。</p>			特にない	<p>昨年度と同様に水保全・ごみ問題・リサイクルについて計画に基づき啓発等を行う。「ごみの減量化等に向けた行動計画」は、平成24年度をもって終了のため、今後、データ及び、これまでの施策の取り組み状況を評価し、第2次行動計画(案)を策定する。</p>	まちづくり支援課
2	女性の人材育成とエンパワーメント支援	1	女性団体及び個人のネットワーク活動支援	男女共同参画の視点で活動する女性団体を支援する。	4	上十三地域男女共同参画ネットワークが県男女共同参画センターらとともに主催した「上十三男女共同参画まつりin十和田」の実施に当たり、ネットワーク参加団体である「女と男がつくる十和田ネットワーク」を支援した。	400人	85.0%	特にない	女と男がつくる十和田ネットワークの活動に対して求めに応じて指導、助言を行う。	総務課
		2	政治への参画意識の高揚	市民の政治、選挙への意識の向上を図るため「話し合い学習」を中心とした啓発活動を推進する。十和田市明るい選挙推進協議会を支援し、政治参画意識を高める。	4	「明るい選挙出前講座を開催」市役所、南公民館1回、東公民館2回「衆議院議員総選挙における街頭啓発活動を実施」道の駅とわだ1回、道の駅奥入瀬1回、イオンスーパーセンター十和田店1回「明るい選挙推進公開講座へ参加」青森市1回	8回	衆議院議員投票率女性 51.8%	投票率の低下防止の啓発活動	明るい選挙出前講座を開催、参議院議員通常選挙における街頭啓発活動を実施、明るい選挙推進公開講座へ参加	選挙管理委員会

施策の方向		平成24年度事業実施状況及び評価							25年度計画	担当課	
		No.	事業名	内容	評価	取組の実績	指標				問題点及び今後の課題
							実績数値	女性比			
2	女性の人材育成とエンパワーメント支援	3	職員研修の実施	職員の資質と能力向上を図ることを目的に職員研修を実施する。	4	市主催の9研修で359人が受講し、女性の受講者は126人で、約35%だった。派遣研修は179人が受講し、女性職員の受講者は59人で、約33%だった。市職員における女性職員の割合は、28.2%(病院除く)であり、割合から考えれば女性の受講率は高くなっている。	538人受講	34.3%	派遣研修には宿泊を伴う研修が多いため、女性の受講率が低い傾向にある。	本年度も昨年度と同様に市主催・派遣研修を実施する。育児・介護等の事情がある職員が、派遣研修を受講しやすくするため、事情によっては、バス・公用車での日帰り研修も可能とする。	人事課
3	国際的視野に立つ男女共同参画の推進	1	民間団体の国際交流活動への支援	市民の国際感覚の育成や外国の人々との相互理解を深め、国際観光都市を掲げる当市の国際交流の推進を図るため、市民団体が行う国際交流活動等を支援する。	4	民間団体による国際交流事業への市民の参加者数 800人	800人		民間による国際交流事業の支援を通じて、市民の国際的な視野を養い、多様な文化への理解を深めることとしており、活用可能な補助制度の情報提供、ALTや在住外国人の参加、国際交流事業に取り組む団体の連携強化などに努め、国際化の推進に努める。	(財)自治総合センターによるコミュニティ助成事業を活用し、十和田国際交流協会とプロ・ワークス十和田に補助し、海外からの招聘プログラムの支援を行う。 また、元気な十和田市づくり市民活動支援事業により、十和田国際交流協会に補助し、交流プログラムの支援を行う。	まちづくり支援課
		2	外国青年招致事業	外国語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、異文化に対する関心を深め、国際理解の基礎を培うため、市内小・中学校に英語を母国語とする外国語指導助手(ALT)を派遣する。	4	◇4人のALTを市内小・中学校に延860回派遣し、外国語活動や英語の授業等を支援した。 ◇ALTは、カナダとオーストラリアから男女各1人ずつ任用している。	派遣回数860回	ALTの女性任用率50%	支援内容の一層の充実を図るため、派遣回数調整を図りながら、ALT・派遣校・指導課の間の連絡を一層密にとっていきたい。	本年度も4人のALTを市内小・中学校に派遣し、外国語活動や英語の授業等を支援する。ALTの男女比については、これまで同様にバランスのとれた構成とする。	指導課
		3	在住・滞在外国人支援	外国語による各種情報を提供するほか、市内に在住・滞在する外国人が、安心して暮らし活動するための支援をする。	4	母子健康手帳の英語版の交付1件、ママ&ママズ(外国人ママの情報交換や親睦の場)紹介				ママ&ママズなどに参加できず、孤立しがちな外国人ママへの支援についての検討が必要である。	母子健康手帳の4カ国語版の交付を実施。 ママ&ママズ(外国人ママの情報交換や親睦の場)紹介。

施策の方向		平成24年度事業実施状況及び評価							25年度計画	担当課	
		No.	事業名	内容	評価	取組の実績	指標				問題点及び今後の課題
							実績数値	女性比			
3	国際的視野に立つ男女共同参画の推進	4	在住・滞在外国人支援	外国語による各種情報を収集提供し、市内に在住する外国人が、安心して暮らし活動するための支援をする。	3	◇外国語による資料を収集し、各種情報を提供 ◇外国語辞典・原書の資料約350冊所蔵し、コーナーを設置	350冊		外国語による一般書の資料が少なく、利用も多くない。	外国語による資料の収集、特に児童書の増を図るとともに、展示等も行って広く提供していく。	市民図書館